



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月10日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東  
 コード番号 6555 URL https://www.msandc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 秀敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役会長兼経営管理本部長 (氏名) 並木 昭憲 TEL 03(5649)1185  
 四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 2023年11月15日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	1,019	2.8	△19	-	△19	-	△13	-	△13	-	△17	-
2023年2月期第2四半期(注)	992	26.5	77	42.4	76	45.6	54	35.1	54	31.3	49	16.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	△3.08	△3.08
2023年2月期第2四半期(注)	12.43	12.30

(注) 2024年2月期第1四半期よりIAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を適用しております。これに伴い、2023年2月期第2四半期の関連する数値について遡及適用後の数値となっております。

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	3,337	2,705	2,739	82.1
2023年2月期(注)	3,733	2,963	2,994	80.2

(注) IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)適用に伴う遡及適用後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	8.00	-	9.00	17.00
2024年2月期	-	9.00	-	-	-
2024年2月期(予想)	-	-	-	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,515	13.6	319	△1.9	319	△1.4	199	△9.3	199	△9.6	46.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	4,530,100株	2023年2月期	4,514,100株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	570,601株	2023年2月期	235,869株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	4,135,689株	2023年2月期2Q	4,338,885株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当上半期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い回復基調にはあるものの、物価上昇と実質賃金の低迷による消費の伸び悩み、人手不足の深刻化などが企業経営を圧迫しており、当社の主要顧客である外食・小売などのサービス産業においても、先行き不透明な環境が続いております。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ(以下「MSR」という。)」の売上収益は、前第2四半期会計期間と比較し8.1%増、SaaSは11.2%増、コンサルティング・その他(以下「コンサル」という。)は78.1%増となっております。以上の結果、前第2四半期会計期間と比較し、売上収益で18.8%増、営業利益は54.9%増となりました。

売上面では、前第2四半期会計期間と比較し、MSRは一部大手顧客の契約が満了となった一方、過去取引先の調査再開や新規取引先の調査開始、年間調査スケジュール変更要請への対応、海外関連調査の拡大などにより増加致しました。またSaaSはIT導入補助金の活用や従業員エンゲージメントへの関心の高まりからチームアンケートが拡大し、引き続き堅調に推移致しました。コンサルは各種補助金などの関連売上の大幅増や新たな成果創出を目指すHR分野において初期顧客のご支援を継続していることに加え、コストダウンのご支援も徐々に導入が進んでいることなどにより大幅に増加致しました。

生産面では、送客+調査型サービスの拡大を見込み、人手不足の影響から若干の遅れが生じたものの安定的な役務提供に向けた人員の採用と育成、オフィス設備の拡充に取り組んでまいりました。当期は送客+調査型サービス及び海外関連調査の比率が高まることを見込み、適切な生産体制となるよう、引き続き人員配置の見直しや生産性向上に努めてまいります。

管理面では、前第2四半期会計期間と比較し、原価が22.8%増、販売費及び一般管理費が6.0%減となりました。原価は、調査数増と物価高に伴う単価上昇によってモニター謝礼が増加、加えて人員増及び昇給に伴う労務費が増加致しました。一方、販売費及び一般管理費は、広告宣伝費や社内業務の一部外注にかかる報酬が増加した半面、各種コストダウンにより減少致しました。

以上の結果、当上半期の業績は、売上収益1,019,210千円(前年同期比27,708千円増)、営業損失18,634千円(前年同期は76,893千円の営業利益)、税引前四半期損失18,892千円(前年同期は75,891千円の税引前四半期利益)、親会社の所有者に帰属する四半期損失12,722千円(前年同期は53,912千円の親会社の所有者に帰属する四半期利益)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物が379,357千円、営業債権及びその他の債権が91,982千円、使用権資産が14,727千円減少し、その他の無形資産が35,788千円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて396,404千円減少し、3,336,811千円となりました。

負債については、営業債務及びその他の債務が12,383千円増加したものの、リース負債が15,254千円、借入金金が19,472千円、その他の流動負債が19,558千円、未払法人所得税等が96,492千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて138,393千円減少し、632,004千円となりました。

資本については、配当金支払による利益剰余金の減少38,504千円、自己株式の取得による減少212,506千円、親会社の所有者に帰属する四半期損失12,722千円等により、前連結会計年度末に比べて258,011千円減少し、2,704,807千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ379,357千円減少し、286,796千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、39,714千円の支出(前年同期比66,464千円減)となりました。これは、税引前四半期損失の計上18,892千円、営業債権及びその他の債権の減少額92,609千円、営業債務及びその他の債務の増加額11,003千円、法人所得税の支払額96,834千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、92,375千円の支出(前年同期比47,583千円増)となりました。これは、無形資産の取得による支出63,602千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、247,607千円の支出(前年同期比114,072千円増)となりました。これは、短期借入金の純増額50,000千円、長期借入金の返済による支出69,472千円、自己株式の取得による支出213,626千円、配当金の支払額38,504千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月6日の「2023年2月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	666,153	286,796
営業債権及びその他の債権	468,230	376,248
棚卸資産	4,295	49,110
その他の流動資産	81,011	58,803
流動資産合計	1,219,688	770,956
非流動資産		
有形固定資産	7,292	33,135
使用権資産	60,713	45,986
のれん	2,223,891	2,223,891
その他の無形資産	159,339	195,127
その他の金融資産	31,843	31,046
繰延税金資産	30,449	36,669
非流動資産合計	2,513,527	2,565,855
資産合計	3,733,215	3,336,811
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
借入金	69,472	50,000
リース負債	30,865	29,568
営業債務及びその他の債務	501,608	513,991
未払法人所得税等	97,544	1,052
引当金	8,222	8,222
その他の流動負債	19,558	—
流動負債合計	727,269	602,833
非流動負債		
リース負債	28,718	14,761
引当金	14,410	14,410
非流動負債合計	43,128	29,171
負債合計	770,397	632,004
資本		
資本金	57,290	61,290
資本剰余金	2,021,344	2,024,481
自己株式	△155,228	△364,691
その他の資本の構成要素	△27,960	△29,787
利益剰余金	1,098,677	1,047,451
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,994,122	2,738,744
非支配持分	△31,305	△33,937
資本合計	2,962,817	2,704,807
負債及び資本合計	3,733,215	3,336,811

(2) 要約四半期連結包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上収益	991,502	1,019,210
売上原価	△630,540	△719,534
売上総利益	360,962	299,676
販売費及び一般管理費	△319,613	△341,778
その他の収益	35,615	23,468
その他の費用	△72	—
営業利益 (△損失)	76,893	△18,634
金融収益	6	17
金融費用	△1,008	△276
税引前四半期利益 (△損失)	75,891	△18,892
法人所得税費用	△22,323	5,900
四半期利益 (△損失)	53,568	△12,992
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△2,550	△984
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△2,550	△984
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,604	△3,205
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△1,604	△3,205
税引後その他の包括利益	△4,154	△4,189
四半期包括利益	49,414	△17,181
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	53,912	△12,722
非支配持分	△344	△271
四半期利益 (△損失)	53,568	△12,992
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	51,895	△14,549
非支配持分	△2,481	△2,632
四半期包括利益	49,414	△17,181
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	12.43	△3.08
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	12.30	△3.08

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上収益	534,495	635,238
売上原価	△333,273	△409,384
売上総利益	201,222	225,855
販売費及び一般管理費	△166,976	△157,033
その他の収益	17,809	11,802
営業利益	52,055	80,624
金融収益	6	17
金融費用	△311	△109
税引前四半期利益	51,749	80,533
法人所得税費用	△18,415	△28,060
四半期利益	33,335	52,473
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1,614	2
純損益に振り替えられることのない 項目合計	1,614	2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	780	△2,254
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	780	△2,254
税引後その他の包括利益	2,394	△2,252
四半期包括利益	35,728	50,220
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	33,489	52,490
非支配持分	△155	△17
四半期利益	33,335	52,473
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	36,343	51,490
非支配持分	△615	△1,270
四半期包括利益	35,728	50,220
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	7.72	12.94
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7.65	12.87



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2022年3月1日時点の残高	45,000	2,009,308	△90,185	△18,486	948,930	2,894,567	△28,136	2,866,430
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	△532	△532	—	△532
会計方針の変更を反映した 2022年3月1日時点の残高	45,000	2,009,308	△90,185	△18,486	948,398	2,894,035	△28,136	2,865,899
四半期利益	—	—	—	—	53,912	53,912	△344	53,568
その他の包括利益	—	—	—	△2,017	—	△2,017	△2,137	△4,154
四半期包括利益合計	—	—	—	△2,017	53,912	51,895	△2,481	49,414
自己株式の処分	—	32	1,970	—	—	2,002	—	2,002
配当金	—	—	—	—	△34,695	△34,695	—	△34,695
所有者との取引額合計	—	32	1,970	—	△34,695	△32,693	—	△32,693
2022年8月31日時点の残高	45,000	2,009,339	△88,215	△20,503	967,615	2,913,236	△30,617	2,882,619

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2023年3月1日時点の残高	57,290	2,021,344	△155,228	△27,960	1,098,677	2,994,122	△31,305	2,962,817
四半期損失	—	—	—	—	△12,722	△12,722	△271	△12,992
その他の包括利益	—	—	—	△1,828	—	△1,828	△2,361	△4,189
四半期包括利益合計	—	—	—	△1,828	△12,722	△14,549	△2,632	△17,181
新株の発行	4,000	4,000	—	—	—	8,000	—	8,000
自己株式の取得	—	△748	△212,506	—	—	△213,254	—	△213,254
自己株式の処分	—	△115	3,043	—	—	2,928	—	2,928
配当金	—	—	—	—	△38,504	△38,504	—	△38,504
所有者との取引額合計	4,000	3,137	△209,463	—	△38,504	△240,830	—	△240,830
2023年8月31日時点の残高	61,290	2,024,481	△364,691	△29,787	1,047,451	2,738,744	△33,937	2,704,807

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	75,891	△18,892
減価償却費及び償却費	39,041	42,655
金融収益	△6	△17
金融費用	1,008	276
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,235	△44,815
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	51,337	92,609
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△158,715	11,003
その他	△57,875	△25,440
小計	△66,553	57,379
利息及び配当金の受取額	6	17
利息の支払額	△1,009	△276
法人所得税の支払額	△38,622	△96,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,178	△39,714
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,582	△28,773
無形資産の取得による支出	△43,210	△63,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,792	△92,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	50,000
配当金の支払額	△34,695	△38,504
長期借入金の返済による支出	△83,328	△69,472
株式の発行による収入	—	8,000
自己株式の取得による支出	—	△213,626
リース負債の返済による支出	△15,512	△15,254
その他	—	31,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,535	△247,607
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△284,504	△379,696
現金及び現金同等物の期首残高	1,072,392	666,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,748	339
現金及び現金同等物の四半期末残高	786,140	286,796

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS

新設・改訂の概要

IAS第12号 法人所得税 (2021年5月改訂) リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

当社グループは、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。

本改訂は遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結財政状態計算書は、繰延税金資産が465千円減少し、利益剰余金が508千円減少するとともにその他の資本の構成要素が43千円増加しております。また、当第2四半期連結会計期間の要約四半期連結財政状態計算書は、繰延税金資産が592千円減少し、利益剰余金が636千円減少するとともにその他の資本の構成要素が44千円増加しております。前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結包括利益計算書は、法人所得税費用が46千円増加し、四半期利益が同額減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の要約四半期連結包括利益計算書は、法人所得税費用が128千円増加し、四半期損失が同額増加しております。

前第2四半期連結累計期間の期首の資本に累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は532千円減少しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## (1) 自己株式の取得

2022年10月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式39,500株の取得を行いました。また、2023年4月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。これらの自己株式の取得及び単元未満株式の買取りにより、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が748千円減少し、自己株式が212,506千円増加いたしました。

## (2) 自己株式の処分

2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式を4,800株処分いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が115千円減少し、自己株式が3,043千円減少しております。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。